

CDラジオカセットレコーダー保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

形名	CK-11	※ お 買 い 上 げ 日		保 証 期 間
		平 成	年 月 日	本 体 : 1 年
※お客様	ご住所	〒 -		様
	ご芳名			
※販売店	住 所	〒 -		
	店 名		TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引越、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (ニ) 車輛、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用)に使用されて生じた故障または損傷。
 - (ヘ) 消耗品を取り替える場合。
 - (ト) 本書のご提示がない場合。
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には別紙のご相談窓口一覧表をご覧ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または21ページ記載のご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このCDラジオカセットレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理メモ

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29(アクロポリス東京)
TEL.03(3260)9611
FAX.03(3260)9739

取扱説明書

日立リビングサプライ

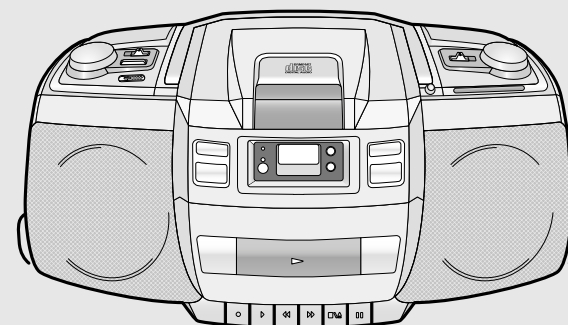
保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
必ずご記入をお受けください。

CDラジオカセットレコーダー CK-11形

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



目次


- 安全上のご注意……………1
- 各部のなまえ……………7
- 電源と接続について……………9
- 共通の操作……………10
- CDを使う……………11
- ラジオを聞く……………15
- テープを聞く、録音する……………16
- お手入れ……………19
- 故障かな?と思ったら……………20
- 製品仕様……………21
- 日立家電品についてのご相談や修理は
お買い上げの販売店へ……………21
- 保証とサービス……………裏表紙


Hitachi Living Systemsは
日立リビングサプライの英文社名です。

安全上のご注意


■ 絵表示について


製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。


 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

 の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。

 の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

 の記号は「しなければならない行為」を示します。

■ お願い

- 「安全上のご注意」の本文での「電源を切る」とはファンクションスイッチを「テープ/電源 切」にすることです。
- 「安全上のご注意」のイラストと本機とでは若干形状等が異なることがありますご了承ください。

警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

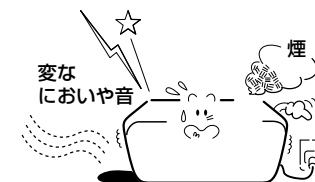
次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体のファンクションスイッチで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。



電源プラグを
コンセントから抜く

- 本機の内部に水などがに入った
- 異物が本機の内部に入った
- 音が出ないなど（故障状態）
- 落としたり、キャビネットを破損した

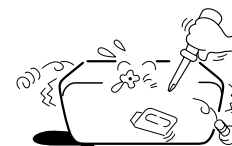


■ 分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



分解禁止



■ めらさない

- 本機をめらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください



水ぬれ禁止

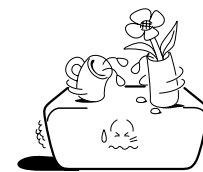


■ 本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などがに入った場合、火災、感電の原因となります。



禁止



禁止



警告

■ 電源コードを傷つけない

無理な使いかたをするとコードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- 電源コードの上に重いものを乗せる。
- 途中でつぎ足したりして加工する。
- 無理に折り曲げる。
- 傷をつける。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。



禁止



電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 電源コード接続時の注意

次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより、火災の原因となります。

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続する。コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
- 電源コードは束ねたまま使用しない。
- たこ足配線はしない。



■ 差し込み部分は定期的に点検を

定期的に電源プラグを抜いて、プラグとコンセントの間に付着したほこり、よごれなどを取り除いてください。ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。



■ 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機の後部や底部などに通風孔があり、次のような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。



禁止



■ 壁にぴったりつけない

本機の設置は、壁から10cm以上の間隔をあけてください。また、他の機器との間は少し離してください。ラックなどに入れるときは、本機の天面および背面からそれぞれ10cm以上のすきまをあけてください。すきまがないと、内部に熱がこもり火災の原因となります。



禁止



警告

■ 運転中、ヘッドホンは使用しない

自動車・オートバイなどの運転中や自転車に乗りながらヘッドホンやイヤホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。



禁止

■ 雷が鳴り出したら

屋外で使用中の場合は、ロッドアンテナをたたんで安全な場所に避難してください。落雷の原因となります。



アンテナ線や電源プラグには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止



■ 電源電圧100V以外で使用しない

表示された電源電圧 (AC100V) 以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。



禁止



■ 国外では使用しない

本機をAC電源で使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



禁止



⚠ 注意

■ 電源プラグを抜くときの注意



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 設置場所に注意



禁止

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

■ 不安定な場所に置かない



禁止

不安定な場所、棚などに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に重いものを置かない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 持ち運びの注意



電源プラグをコンセントから抜く



- CDを取り出してください。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードをはずしたことを確認のうえ、おこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- ロッドアンテナをたたんでください。伸ばしたまま持ち運びするとロッドアンテナがひっかかったり、当たったりしてけがの原因となることがあります。

■ CDやカセット挿入口に手を入れない



指をはさまれないよう注意

けがの原因となることがあります。(特に小さなお子さまにご注意ください。)

■ レーザー光源をのぞき込まない



禁止

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

■ 変形やひび割れしたCDは使用しない



禁止

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したCDは、使用しないでください。CDは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がしたあとがあるCDも使用しないでください。

■ ヘッドホンの音量に注意



音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ クレジットカードなどをスピーカーに近づけない



禁止

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、スピーカーのそばに置かないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

⚠ 注意

■ 長期間使用しない場合やお手入れの際の注意



電源プラグをコンセントから抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 内部の掃除について



内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 乾電池使用上の注意



乾電池の使い方を誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- 指定以外の電池は使用しない。
- 極性(⊕と⊖)に注意し、表示通りに入れる。



禁止

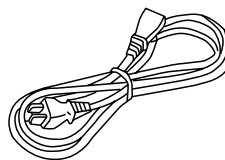
- 種類の異なるものや、新旧の電池を混ぜて使わない。
- 電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。



- 長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、電池を取り出しておく。

もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品



電源コード
(乾電池は付属していません)

大切な録音や再生は事前に確認を

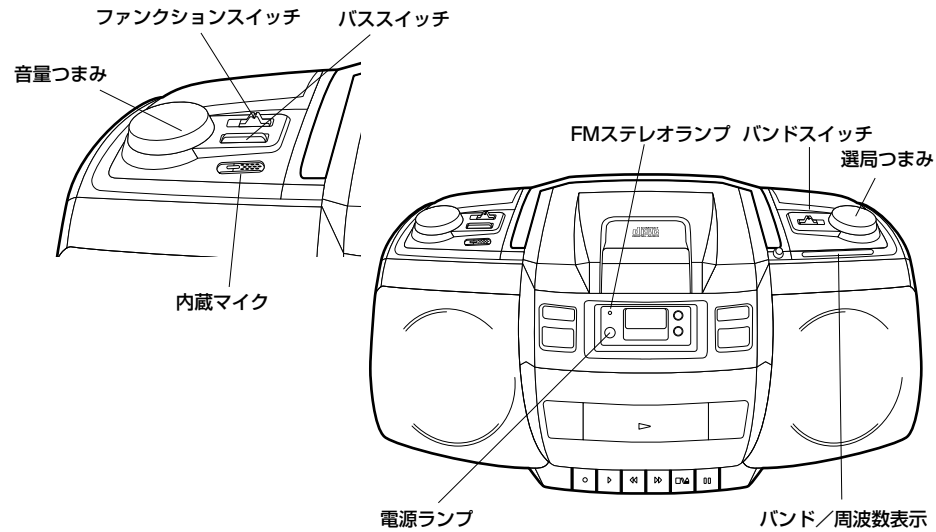
大切な録音や再生の場合は、正常に録音や再生ができることを確認してください。

著作権について

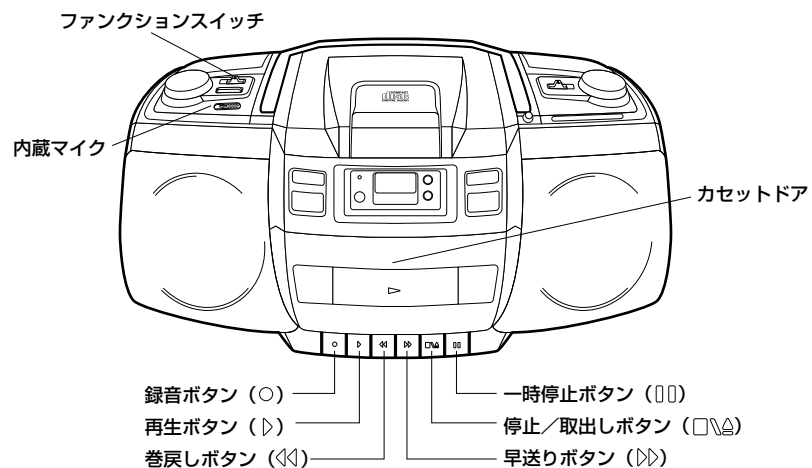
- 放送やCD、レコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従ってそれらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)におたずねください。(JASRAC 本部：TEL. 03-3481-2121)

各部のなまえ

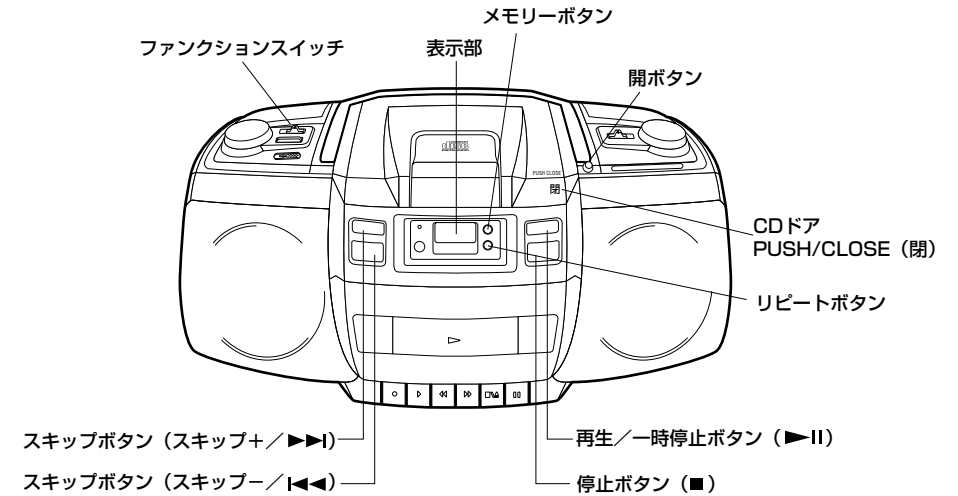
■ ラジオ／総合部



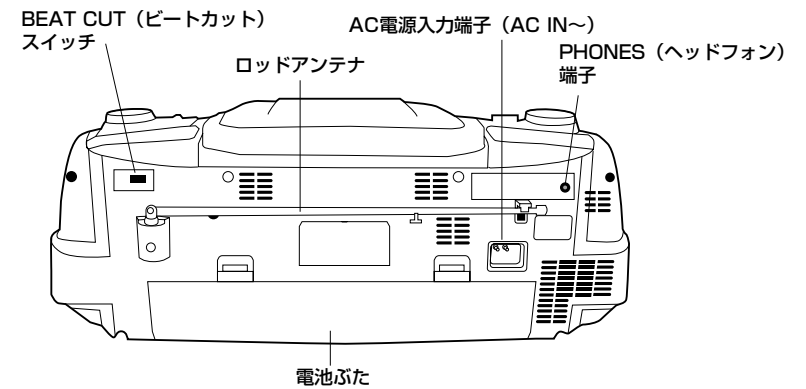
■ テープ部



■ CD部



■ 背面



電源と接続について

■ 電源

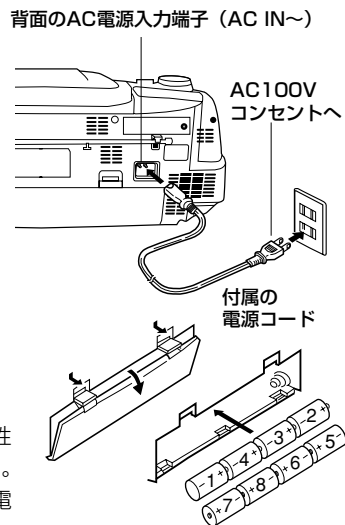
このCDラジオカセットレコーダーは、AC電源と乾電池の両方で作動します。

■ AC電源

本体背面にあるAC電源入力端子（AC IN〜）へ付属の電源コードを入れて、コードの反対側をAC電源コンセントに差し込んでください。

注意

1. 付属の電源コード以外は、本体にダメージを与える恐れがありますので使用しないでください。また、電源コードを使うときは、乾電池を本体から取り外してください。
2. 本体を外に持ち出すときや長期間使わないときは、電源コードを必ず抜いてください。
3. 電源コードを抜き差しするときは、ファンクションスイッチをテープ/電源 切」の位置にしておこなってください。



■ 乾電池

- 電池ぶたを開け、別売の単一形乾電池8本を極性（⊖と⊕）を間違えないよう図に示す番号順に入れます。
- 電源コードがAC INPUT端子に接続されていると、乾電池では動作しません。

注意

1. 長期間（1ヶ月以上）使用しない場合やAC電源で使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。
2. 乾電池が消耗してくると次のような現象を生じます。
 - ・音が小さい、ひずむ。
 - ・テープ速度が遅くなる。
 - ・ラジオは聞けるがCDやテープが正常に動作しない。
3. 乾電池はときどき休ませた方が長く使えます。
4. 大切な録音やCD演奏をするときは、あらかじめ新しい乾電池に交換するかAC電源の使用をおすすめします。

■ アンテナ

AMアンテナが本体に内蔵されているため、本体の位置を動かすことでAMの受信状態を調整できます。FM受信状態は、本体背面に付いているロッドアンテナを伸ばしたり動かしたりして調整できます。

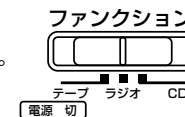
注意

放送局の電波塔の近くなど電波の強い影響を受ける地域では、希望する放送局が受信できない場合があります。

共通の操作

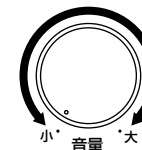
■ ファンクションスイッチ

ファンクションスイッチを使いたい機能の記載された部分に動かします。



■ 音量

音量つまみをまわして、音量を調整します。

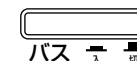


■ 電源オフ

本体の電源を切るときには、カセットテープのボタンが押されていない状態で、「テープ 電源 切」にファンクションスイッチをあわせてください。

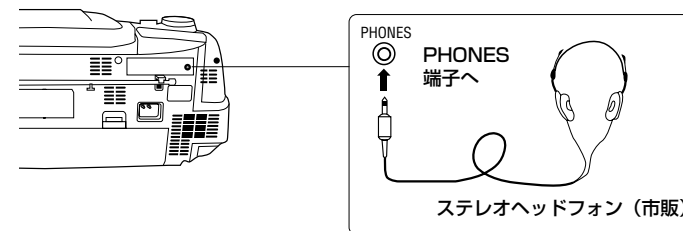
■ バススイッチ

重低音を強調したいときにボタンを押してください。「切」にすると、もとの音質になります。

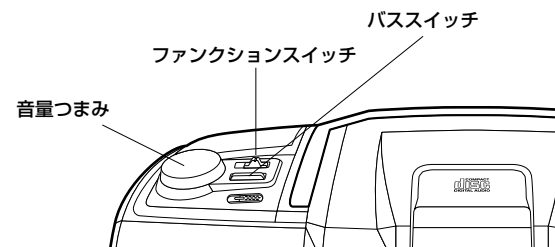


■ ヘッドフォン

ミニプラグ付のステレオヘッドフォン（市販）を背面のPHONES端子に接続します。



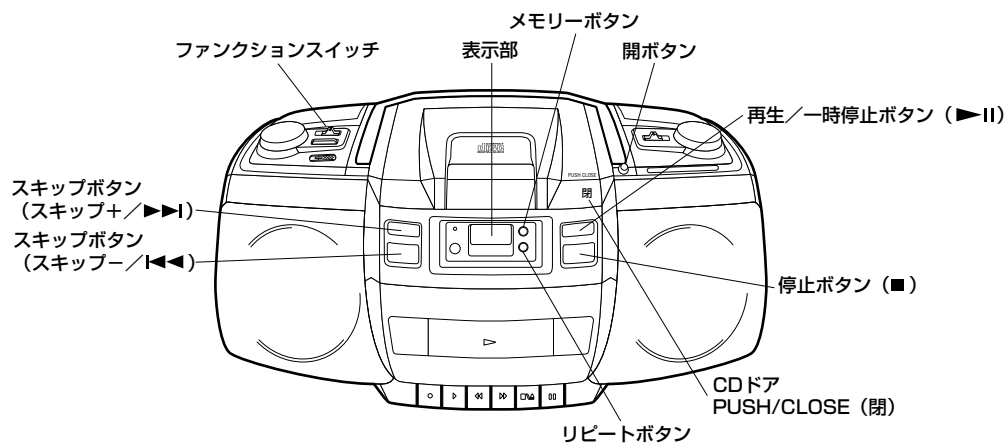
ヘッドフォンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。



注意

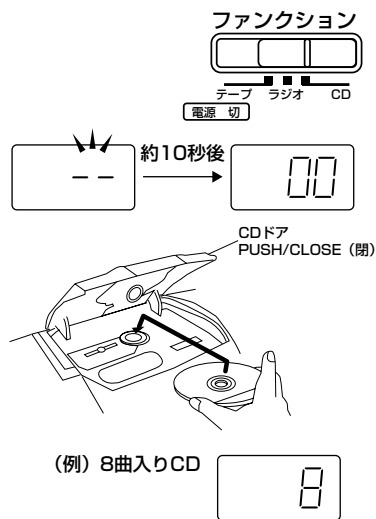
ファンクションスイッチを動かしたとき「ポツ」という音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

CDを使う



■ CDをセットする

1. ファンクションスイッチを「CD」にあわせます。(CDが入っていない時は右図のように“--”が点滅表示され約10秒後“00”になります。)
2. 「開」ボタンを押して、CDドアを開けます。
3. CDのラベルが上向きになるようにCDトレイに乗せます。
4. CDドアのPUSH/CLOSE部を押して「カチッ」と音がするまで確実に閉めます。数秒後に、右下図(例)のようにCDのトータル曲数が表示されます。
5. CDを取り出すには、「開」ボタンを押してCDの端を持ち、用心して取り出します。



注意 ● CDドアPUSH/CLOSE (開) 部を押さないと、CDドアは閉まりません。

■ CDを再生する、一時停止する、停止する

1. 一曲目から順番に再生するには、「再生/一時停止 (▶||)」ボタンを押します。演奏されている曲の曲番号が表示されます。
2. CDの再生を一時停止するためには、「再生/一時停止 (▶||)」ボタンを押すと、“PLAY”の文字が点滅します。再生ボタンを押すと、再び演奏を再開します。
3. CDの演奏を停止するためには、「停止 (■)」ボタンを押します。“PLAY”の文字が消えCDのトータル曲数を表示します。数秒待つとCDの回転が止まります。
4. 「開」ボタンを押してCDドアを開け、CDを取り出します。



注意 ● CDを取り出すにはCDの回転が停止したのを確認してから「開」ボタンを押してください。
● 演奏中にCDドアを開けると、CDを傷つける場合がありますので、CDドアを開けないでください。

■ 曲の頭出し

この機能は、再生中の曲を含め、どの曲でも素早く曲の頭から再生できます。

- 演奏中に「スキップ-/◀◀」ボタンを短くポンと押すと、前の曲の先頭に戻ります。
 - 演奏中に「スキップ+/▶▶」ボタンを短くポンと押すと、次の曲の先頭に行きます。
- CDが停止しているときは、希望の曲番号が表示されるまで「スキップ+/▶▶」または「スキップ-/◀◀」ボタンを短くポンと繰り返し押し、再生ボタンを押します。選んだ曲から再生できます。

■ 早送り、早戻し

演奏または一時停止中にスキップ (「スキップ+/▶▶」または「スキップ-/◀◀」) ボタンを押し続け、希望のところで指を離します。

- 早送り、早戻し中は音量が若干小さくなります。一時停止中に早送り、早戻しはできませんが音はでません。停止中は、早送り、早戻しはできません。

■ リピート演奏

CDの中の1曲だけ、または全曲を繰り返し演奏します。

停止のとき

- 1曲だけ繰り返し演奏する場合
リピートボタンを1度押し、(表示部に“REP.”が点滅) 再生/一時停止ボタンを押します。
- 全曲を繰り返し演奏する場合
リピートボタンを2度押し、(表示部に“REP.”が点灯) 再生/一時停止ボタンを押します。

演奏中のとき

- 1曲だけ繰り返し演奏する場合
リピートボタンを1度押します。(表示部に“REP.”が点滅)
- 全曲を繰り返し演奏する場合
リピートボタンを2度押します。(表示部に“REP.”が点灯)

■ リピートの解除

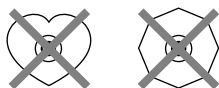
「リピート」ボタン、または「停止 (■)」ボタンを1または2度押し、表示部の“REP.”を消します。また、電源を切った場合もリピート演奏は解除されます。

注意

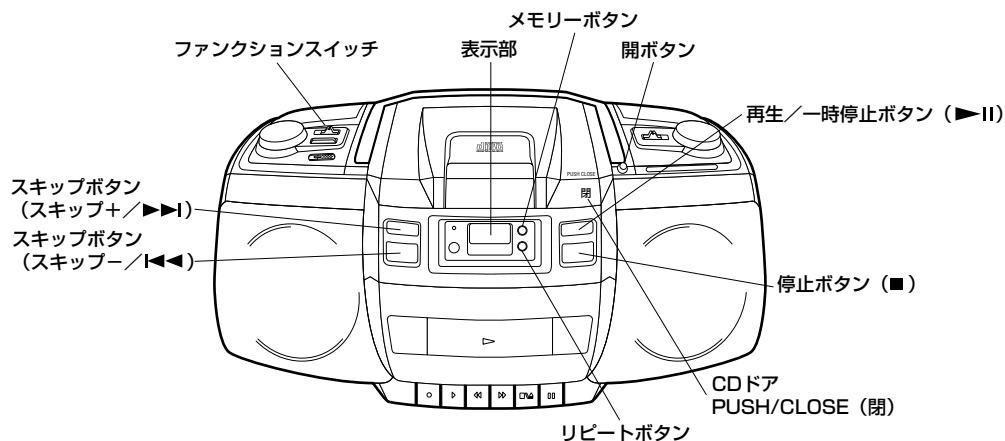


マークの入ったCDをご使用ください。

- CDが正しい位置にのっていないと、CDに傷をつけたり故障の原因となります。
- CDの裏表を逆に入れると「--」が点滅し、その後「00」を表示したまま演奏できません。
- CDに傷、指紋、ほこりがついていると、演奏できないことがあります。
- CD-R/RWディスクについて
本機では音楽を録音したCD-R/RWを演奏することもできますが、録音された環境や内容によっては演奏できないことがあります。
未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み込みに時間がかかることがあります、誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクを傷つけることがあります。
- MP3ファイル形式のディスクは演奏できません。
- VCD（ビデオCD）は演奏できません。
- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。
機器の故障の原因となります。



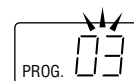
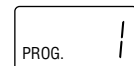
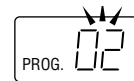
■ プログラム演奏



プログラム例

演奏順 (ステップ)	曲番
1番目	曲番7
2番目	曲番1

1. 「メモリー」 ボタンを押して1番目の演奏プログラムを設定します。
「PROG」と「01」が表示部に点滅します。
2. 「スキップ (▶| または |◀|)」 ボタンを繰り返し押して、「7」を選びます。
3. 「メモリー」 ボタンを押します。(1番目の演奏プログラムの設定が終了し、2番目を開始します。)
4. 「スキップ (▶| または |◀|)」 ボタンを繰り返し押して「1」を選びます。
5. 「メモリー」ボタンを押します。(2番目の演奏プログラムが終了します。) この動作を繰り返すことで、最大20曲までプログラムできます。
すべてのプログラムの終了後、「メモリー」ボタンを押すことで、プログラムした曲番が順番に表示され、プログラムの確認ができます。
6. 「再生/一時停止 (▶||)」 ボタンを押します。
プログラム演奏が始まります。



注意 21番目以上をプログラムしようとする20番目までのプログラムが順番に表示された後、「01」が点滅してプログラムすることはできません。
設定したプログラムがすべて演奏されると停止します。途中で停止/クリア (■) ボタンを押して停止することもできます。設定したプログラムは記録しています。

■ プログラムの確認

停止時に「メモリー」ボタンを押します。
プログラムした曲番が順に表示されます。

■ プログラムの最後に曲を追加するには

停止時に「メモリー」ボタンを繰り返し押してプログラムされた次の演奏順を表示 (点滅) させた後、手順2~3と同様に曲を追加します。

■ プログラムを変更するには

停止時に「メモリー」ボタンを繰り返し押して変更したい曲番を表示 (点滅) させた後、手順2~3と同様に曲を変更します。

プログラムした曲と曲との間に新しい曲を追加したり、削除することはできません。

■ プログラムを取り消すには

停止時に「停止 (停止 ■)」ボタンを押します。PROG表示が消えます。

CDを交換したときやファンクションを切り換えたときもプログラムは取り消されます。

ラジオを聞く

■ ラジオ局を選局する

- ラジオを聞くには、ファンクションスイッチを「ラジオ」にあわせてください。
- バンドスイッチを「AM」か「FM/TV1~3」にあわせませす。
- バンド/周波数表示を目安に選局つまみを回すことで、聞きたいラジオ局にあわせませす。
- ラジオを切るには、ファンクションスイッチを「テープ [電源 切]」にあわせませす。



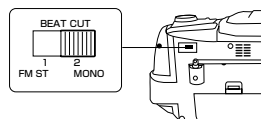
■ テレビの音声を聞く

本機のFMバンドでテレビの1~3チャンネルの音声を聞くことができます。バンドスイッチを「FM/TV1~3」にあわせ、選局つまみで指針を①-②-③にあわせてください。

- ステレオ、音声多重にはなりません。
- VHF4~12チャンネルとUHFは受信できません。
- 本機のテレビ受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

■ FMステレオ放送の受信について

背面の「BEAT CUT」スイッチでステレオ「FM ST」とモノラル「MONO」モードを切り換えることができます。ステレオ「FM ST」側の時にFMステレオ放送を受信すると、ステレオになり、本機正面のFMステレオランプが点灯します。

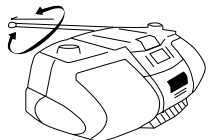


- 受信状態が悪く音声が聞きとりにくい場合は、モノラル「MONO」側にするとステレオになりませんが聞きやすくなります。
- AMステレオ放送には対応していません。

■ よりよい受信をするために

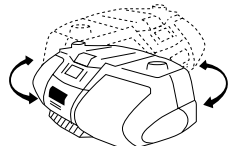
FM放送

ロッドアンテナを伸ばし、最も良く聞こえる方向に向けてください。



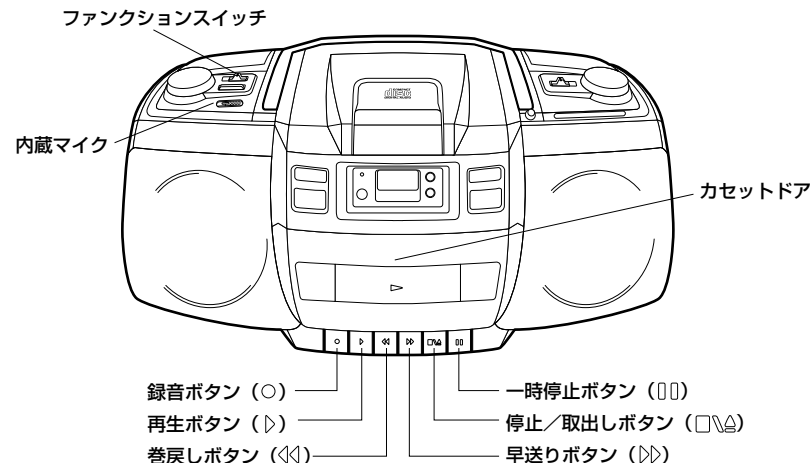
AM放送

本体の向きを変えてください。



注意 テレビの近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナや同軸ケーブルを使用しないフィーダーアンテナを使用しているテレビの近くで本機を動作させると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機を離して使用してください。

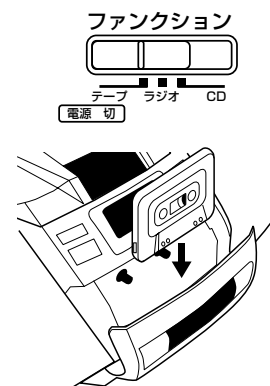
テープを聞く、録音する



- 録音** ○ CD、ラジオおよび内蔵マイクから録音するときに押します。
- 再生** ▷ カセットを再生するときに押します。
- 巻戻し** ◀◀ テープが停止状態のときに、巻戻しボタンを押します。
- 早送り** ▶▶ テープが停止状態のときに、早送りボタンを押します。
- 停止/取出し** ◻◻ テープの動きを止めるとき、もしくはテープが停止状態でカセットのドアを開けるときに押します。
- 一時停止** ⏸ テープの再生もしくは、録音を一時停止させるために押します。もう一度押すと、再生もしくは録音の状態に戻ります。

■ テープを再生する

1. ファンクションスイッチを「テープ [電源 切]」にあわせる。
2. 停止/取出しボタンを押して、カセットドアを開ける。
3. 再生する面を手前に、テープが見える方を下にして入れます。
4. カセットドアをしっかりと閉めます。
5. 「早送り (▶▶)」または「巻戻し (◀◀)」ボタンを押して、聞きたい場所にあわせませす。
6. 「再生 (▷)」ボタンを押してテープを聞きます。止めるときは「停止 (◻◻)」ボタンを押します。
7. テープが最後まで行くと、自動で止まります。



注意 早送り、巻戻しによる頭出し、キュー/レビュー機能はありません。

■ テープに録音する

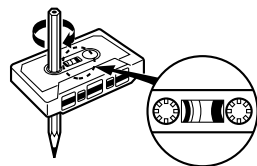
ラジオ、CDおよび内蔵マイクからテープに録音できます。
最適な音で録音するためには、ノーマルテープを使用してください。

■ カセットテープについて

ノーマルテープ (TYPE 1) をご使用ください。ハイポジションテープ (TYPE 2) やメタル (TYPE 4) テープは再生できますがその特性を活かすことはできません。また録音すると正しく録音・消去できません。

- エンドレステープは使用できません。
- 100分以上の長時間テープは大変薄く、伸びやすいため、機械に巻き込むおそれがありますので、使用しないでください。

テープがたるんでいるときは、鉛筆などでたるみをとってから使ってください。

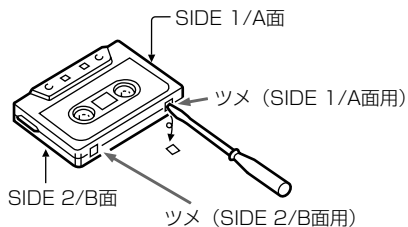


次のような場所には保管しないでください。

- ほこりの多いところ。
- 磁気の発生するところ。
- 高温や湿度の多いところ。

■ 大切な録音を消さないために

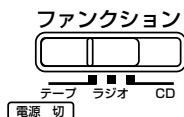
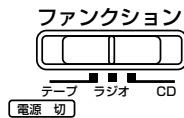
カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。



誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで穴をふさいでください。

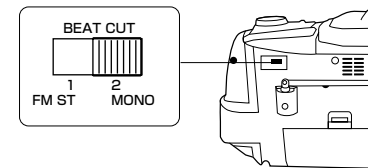
■ ラジオから録音する

1. テープをカセットデッキに入れて、カセットドアを閉めます。
2. ファンクションスイッチを「ラジオ」にあわせ、ラジオを選局します。
3. 録音を始めたいところで、「録音 (○)」ボタンを押すと、「録音 (○)」と「再生 (▷)」ボタンがロックされ録音されます。
4. 録音を終えるには、「停止/取出し (□◁)」ボタンを押します。
5. ラジオを切るには、ファンクションスイッチを「テープ [電源 切]」にあわせます。
6. 録音を一時停止するためには、「一時停止 (〇〇)」ボタンを押します。再び「一時停止 (〇〇)」ボタンを押すと録音を再開します。



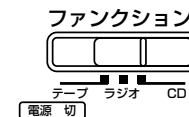
録音中にビート音ができるときは

ラジオを録音中、ビート音（「ピー」という音）ができることがあります。
その場合には背面の「BEAT CUT」スイッチをビート音が小さくなる位置（1または2）に切り換えてください。



■ CDから録音する

1. テープをカセットデッキに入れ、カセットドアを閉めます。
2. ファンクションスイッチを「CD」にあわせます。
3. 録音したいCDをCD部に入れます。
4. 希望の曲から録音するときは、曲番を選んでおきます。
希望の曲だけを選んで録音するときは、プログラムをしておきます。
5. 「録音 (○)」ボタンを押すと、「録音 (○)」と「再生 (▷)」ボタンがロックされCDの演奏と録音が同時にはじまります。
6. 録音を終えるには、「停止/取出し (□◁)」ボタンを押します。同時にCDの演奏が終了し、トータル曲数を表示します。



注意 ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。
機器の故障の原因となります。



7. 録音を一時停止するためには、テープ部の「一時停止 (〇〇)」ボタンを押します。再び「一時停止 (〇〇)」ボタンを押すと録音を再開します。

■ マイクから録音する

1. テープをカセットデッキに入れて、カセットドアを閉めます。
2. ファンクションスイッチを「テープ [電源 切]」にあわせます。
3. 「録音 (○)」ボタンを押すと、「録音 (○)」と「再生 (▷)」ボタンがロックされ録音されます。
4. 録音を終えるときには、「停止/取出し (□◁)」ボタンを押します。

お手入れ

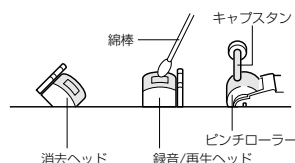
お手入れをする際には電源コードを抜いてから行ってください。

■ テープヘッド部の清掃

テープを再生または録音すると・・・

- 音が悪い
- きれいに録音できない
- 前の音が残っている
- テープが巻きつく

などの症状がでた場合、その多くはヘッドやピンチローラーおよびキャプスタンの汚れが原因となっていますので、市販のクリーニングキット（またはクリーニングテープ）をお買い求めのうえ、ヘッド部分を清掃してください。清掃はできるだけ早い目（約10時間程度使用ごと）におこなってください。



停止/取出し(□)ボタンを押してカセットホルダーを開け、図に示す□部分をふいてください。

- 長い間使っていると、ヘッドが磁化されて雑音が入ったり、音質が悪くなったりします。このようなときは、市販の消磁器でヘッドを消磁してください。

■ 本体のお手入れ

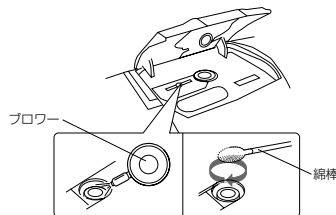
柔らかい布で汚れを軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

- ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。また、キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

■ ピックアップ(レンズ)の清掃

ディスク装着部のレンズが汚れますと、音とびが起きたり、演奏ができなくなったりします。

ほこりなどは、市販のプロワーでレンズを2、3回吹き、先のブラシでほこりをはき出します。指紋などレンズについた汚れは、市販のレンズクリーナーを綿棒につけてレンズの中心から外に向かってふいてください。



露つき(結露)のご注意

周囲の温度が急激に変化した場合、内部の光学レンズに露(水滴)が発生することがあります。この状態では正常にCDを演奏できないことがあります。このような場合、CDを取り出し、使用される場所で約1時間放置した後、ご使用を開始してください。

故障かな?と思ったら

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードが外れていませんか。 ●乾電池の向き(+)(-)が正しく入っていますか。 ●乾電池は消耗していませんか。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●音量つまみが下がっていませんか。 ●ヘッドホンやイヤホンが接続されていませんか。 ●ファンクションスイッチが正しい位置にセットされていますか。
ラジオの受信状態が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●ドライヤー、掃除機、蛍光灯、テレビなど他の電気器具からの雑音の影響を受けていませんか。本機を離したり、または他の電気器具の電源を切っても症状は変わりませんか。
CDの演奏が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> ●CDが裏返し(ラベルが下向き)に入っていないませんか。 ●CDが汚れていませんか。 ●一時停止状態になっていませんか。 ●CDドアは閉まっていますか。 ●ファンクションスイッチがCDになっていますか。 ●結露していませんか(19ページ参照)。 ●CDにソリがありませんか。
CDの音が飛ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ●CDに傷やソリがありませんか。 ●振動する場所に置いていませんか。
カセットが入らない、カセットドアが閉まらない	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットの向きが上下逆さまになっていませんか。
テープが走行しない、走行が不安定	<ul style="list-style-type: none"> ●一時停止ボタンを押していませんか。 ●カセット取り替えても走行しませんか。 ●テープがたるんでいませんか。 ●乾電池が消耗していませんか。
録音ボタンが押せない、録音できない	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットの誤消去防止用ツメが折れていませんか(17ページ参照)。 ●ヘッド部が汚れていませんか(19ページ参照)。
音飛びする、音程が狂う、音がひずむ、消去が不完全	<ul style="list-style-type: none"> ●ハイポジション(TYPE II/クロム)テープやメタル(TYPE IV)テープを使っていますか。 ●ヘッド部が汚れていませんか(19ページ参照)。

仕様 CK-11

CDプレーヤー部		共通部	
チャンネル数	2チャンネル	スピーカー	10cm×2 (8Ω) (前部スピーカー) 4.5cm×2 (8Ω) (上部スピーカー)
ピックアップ	非接触光ピックアップ (半導体レーザー)	出力	2W+2W (JEITA / DC)
ラジオ部		出力端子	Phone端子 ステレオミニジャック 1mW (32Ω)
受信周波数	FM76-90MHz AM522-1,629kHz	電源	AC100V 50/60Hz DC12V (単一乾電池×8個)
アンテナ	フェライトコアアンテナ (AM) はめ込み式アンテナ (FM)	消費電力	14W
テープレコーダー部		外形寸法	432(幅)×157(高さ)×231(奥行)mm
トラック方式	4トラック、2チャンネル ステレオ	質量	約2.9kg (乾電池含まず)
モーター	電子ガバナーDCモーター	付属品	電源コード
ヘッド	マグネット消去、交流バイアス記録	電池持続時間	CD再生時 (JEITA) 約 時間
巻戻し時間	約120秒 (60分テープ)	<small>日立アルカリ単一 乾電池 (LR20) × 8本使用時</small>	テープ再生時 (JEITA) 約 時間
テープ	ノーマルテープ (TYPE I)		FM録音時 (JEITA) 約 時間
マイク部			
マイク	全方向指向性マイク		

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5 (日立家電上野ビル)
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55 (日立家電守山ビル)
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18 (博多渡辺ビル)

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

愛情点検 ★長年ご使用の家電品の点検を!



このような
症状は
ありませんか

- 電源プラグやコードが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常、故障がある。



お願い

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

●製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。また商品の色調は、印刷のため異なる場合があります。あらかじめご了承ください。